

子育て支援に関する市民ニーズ調査

【小学校入学前児童の保護者用】

調査へのご協力をお願い

日頃より市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび京都市では、子育て支援施策をさらに推進していくため、小学校入学前のお子さまがおられるご家庭の中から無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、皆さまの子育ての状況や子どもや子育て支援に関するご意見等をお聞かせいただき、今後の京都市の子育て支援施策の充実に向けた基礎資料とするために行う、非常に重要なものです。

なお、無記名でお答えいただきますので、どなたのお答えかはわからないようになっています。
回答された内容はすべて統計的に処理され、目的外に使用することは一切ございません。

大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成30年 9 月

京都市長 門川大作

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、封筒の宛名のお子さまの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さまについてご記入ください。
3. お選びいただく選択肢の数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
「その他」をお選びいただいた場合は、その後の（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. このアンケートは、「問 50」まであり、設問数は、全部で 96 問ございますが、設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに 9 月 21 日（金）までにポストにご投函ください。
6. このアンケートの結果については、平成 31 年 4 月以降に市ホームページにおいて公表する予定です。

【巻末に用語説明を記載しています。併せてご参照ください。】

【調査に関するお問い合わせ先】

京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部

育成推進課 子育て支援に関する市民ニーズ調査担当

電話：075-746-7610 FAX：075-251-2322

お問い合わせ受付時間：平日 9：00～17：30

※返送先は、京都市が調査・集計業務を委託している『株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所』宛となっております。

お子さまとご家族の状況についてうかがいます

問1 宛名のお子さまの生年月をご記入ください。

平成（ ）年（ ）月生まれ

問2 お住まいの区等はどちらですか。(○は1つ)

また、お住まいの小学校区をご記入ください。

- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|
| 1. 北 区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 |
| 4. 中京区 | 5. 東山区 | 6. 山科区 |
| 7. 下京区 | 8. 南 区 | 9. 右京区(京北地域除く) |
| 10. 右京区(京北地域) | 11. 西京区(洛西支所管内除く) | 12. 西京区(洛西支所管内) |
| 13. 伏見区(深草・醍醐支所管内除く) | 14. 伏見区(深草支所管内) | 15. 伏見区(醍醐支所管内) |

⇒ お住まいの小学校区 学区

※小学校区がわからない場合は、空白のままで結構です。

問3 家族の人数(ご自身や宛名のお子さまも含む。)をご記入ください。

家族全員	子どもの数		
	小学校入学前の子ども	小学生の子ども	中学生以上の子ども
人	人	人	人
	末子の生年月 平成()年()月		

問4 この調査票に記入されている方はどなたですか(続柄は宛名のお子さまからみた関係)。

(○は1つ)

1. 父 2. 母 3. その他()

問5(1) 宛名のお子さまとの同居・近居の状況についてお答えください(続柄は宛名のお子さまからみた関係)。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------|-----------------|-----------------|
| 1. 父母と同居 | 2. 父と同居(ひとり親家庭) | 3. 母と同居(ひとり親家庭) |
| 4. 祖父と同居 | 5. 祖母と同居 | 6. 祖父と近居 |
| 7. 祖母と近居 | 8. その他() | |

※「近居」は、概ね徒歩30分以内で行き来できる範囲。

問5(2) 宛名のお子さまの父母の年齢をご記入ください。(平成30年9月1日現在)

父	母
【母子家庭の場合は記載不要です。以降の父親の方への質問も同様です。】	【父子家庭の場合は記載不要です。以降の母親の方への質問も同様です。】
() 歳	() 歳

問6 同居・近居のご家族の中に、傷病等により看護が必要な方や、障害等により介護・支援が必要な方はおられますか（続柄は宛名のお子さまからみた関係）。（○はいくつでも）

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|---------------------------------|------|
| 1. いない | 2. 本人 | 3. 父 | 4. 母 | 5. 兄 | 6. 姉 |
| 7. 弟 | 8. 妹 | 9. 祖父 | 10. 祖母 | 11. その他（ ） | |

問7 あなたの世帯の昨年1年間（平成29年1月1日～同年12月31日の期間）の可処分所得（実収入から税金や社会保険料等を引いたいわゆる手取り収入）はおおよそどのくらいですか。

（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| 1. 0～100万円 | 2. 101万～200万円 | 3. 201万～300万円 |
| 4. 301万～400万円 | 5. 401万～500万円 | 6. 501万～600万円 |
| 7. 601万～800万円 | 8. 801万～1,000万円 | 9. 1,001万円以上 |

問8(1) 日々の生活の中で、子育てにかける時間は優先するべきだと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問8(2) 日々の生活の中で、子育てにけるお金は優先するべきだと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 最も優先すべき | 2. できるなら優先すべき |
| 3. 他に優先すべきことがある | 4. わからない |

問8(3) 世帯のお子さま全員の子育てについて、1か月にどのくらいの費用がかかりますか。

（○はいくつでも）

また、おおよその金額（幼稚園の就園奨励費や子ども医療費支給制度による補助を受けている場合は、補助を受けた金額を除き実際に負担した額）をご記入ください。

- | | | | |
|--------------------------------|----|---|-------|
| 1. 幼稚園や保育施設等 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 2. 学校（給食費、授業料、教材費等） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 3. 習い事や塾 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 4. 学童クラブ事業等 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 5. 医療 | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |
| 6. その他（ ） | ⇒約 | 万 | 千円／月額 |

問9(1) 日頃、お子さまを預けられる人についてお答えください。（○はいくつでも）

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯（「9時～18時」のように24時間制で）をご記入ください。

- | | |
|--|-------------|
| 1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる | ⇒p.3 問9(2)へ |
| 週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで | |
| 2. 緊急時等に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる | ⇒p.3 問9(2)へ |
| 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒p.3 問9(3)へ |
| 週（ ）日 預けている （ ）時（ ）分 から （ ）時（ ）分 まで | |
| 4. 緊急時等に子どもを預けられる友人・知人がいる | ⇒p.3 問9(3)へ |
| 5. いずれもない | ⇒p.3 問10へ |

＜問9(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。＞

問9(2) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

1. 祖父母等の親族に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 祖父母等の親族の負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他 ()

＜問9(1)で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。＞

問9(3) 友人・知人に預かってもらっている状況についてお答えください。(○は1つ)

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の負担が大きく心配である
3. 友人・知人と子どもの育て方、教育方針が異なるのが気にかかる
4. その他 ()

問10 宛名のお子さまの育児や家事等に主に関わっている方はどなたですか。(○はそれぞれいくつでも)

	父	母	祖父	祖母	その他
① 洗濯をする	1	2	3	4	(5)
② 食料品等の日常的な買い物をする	1	2	3	4	(5)
③ 家族や子どもの食事をつくる	1	2	3	4	(5)
④ 子どもに食事を食べさせる	1	2	3	4	(5)
⑤ 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	(5)
⑥ 子どもと遊ぶ	1	2	3	4	(5)
⑦ 子どもの衣類（おむつ）を替える	1	2	3	4	(5)
⑧ 幼稚園・保育施設等や習い事・塾等の送り迎えをする	1	2	3	4	(5)
⑨ 子どもを寝かしつける	1	2	3	4	(5)
⑩ 子どもをしつける	1	2	3	4	(5)
⑪ 子どもに本を読み聞かせる	1	2	3	4	(5)
⑫ 予防接種や健診に連れて行く	1	2	3	4	(5)
⑬ 子どもが病気の際に看病したり病院に連れて行ったりする	1	2	3	4	(5)
⑭ 子ども会や子育てサークル、町内会や地蔵盆等の子どもに関する地域活動に参加する	1	2	3	4	(5)

お子さまのお父さん、お母さんの就労状況についてうかがいます

問 11(1) 父親・母親それぞれの現在の就労状況（自営業、家族従事者含む。）について、「1～5」の中からお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）

併せて、就労している方は、〔 〕に数字（時刻の場合は、「18 時頃」のように 24 時間制で）をご記入ください。また、就労時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください。

例：1日の就労時間が6時間30分の場合→「7時間」と記入

1日の就労時間が6時間29分の場合→「6時間」と記入

※「フルタイム」とは、1週5日・1日8時間程度の就労をいいます。

父	母
1. 就労している（フルタイム） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	1. 就労している（フルタイム） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中	2. 就労している（フルタイム）が育休・介護休業中
3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃	3. 就労している（パートタイム、アルバイト等） → 1 週あたりの平均の就労日数・時間、働いている日の平均的な家を出る時間と帰宅時間 1 週あたり〔 〕日 1 日あたり〔 〕時間 家を出る時間〔 〕時頃 帰宅時間〔 〕時頃
4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中	4. 就労している（パートタイム、アルバイト等）が育休・介護休業中
5. 現在就労していない ⇒p. 5 問 11(3), (4)へ	5. 現在就労していない ⇒p. 5 問 11(3), (4)へ

＜問 11(1)で「1～4」と答えた方にうかがいます。＞

問 11(2) フルタイムまたはパートタイム、アルバイト等への転換希望はありますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	父	母
① フルタイムへの転換を希望している	1	1
② フルタイムへの転換を希望しているが転換できる見込みはない	2	2
③ パートタイム、アルバイト等への転換を希望している	3	3
④ 現在の就労を継続したい	4	4
⑤ 就労をやめたい	5	5

＜問 11 (1) で「5」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.6 問 12 (1) へお進みください。＞

問 11 (3) その方が、現在就労していない主な理由は何ですか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

	父	母
① 配偶者が就労しているなどで就労する必要がないため	1	1
② 子育てのため	2	2
③ 家族・親族等の看護・介護のため	3	3
④ 健康上の問題があるため	4	4
⑤ 働きたいが、家族の理解が得られないため	5	5
⑥ 条件に合った仕事が見つからないため	6	6
⑦ その他 () 内に理由を記入)	7 ()	7 ()

＜問 11 (1) で「5」と答えた方にうかがいます。＞

問 11 (4) 現在就労していない方は今後、就労を希望していますか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

併せて、() に数字をご記入ください。

父	母
1. 就労は希望していない	1. 就労は希望していない
2. 1 年より先、末子が () 歳ぐらいになったら就労したい	2. 1 年より先、末子が () 歳ぐらいになったら就労したい
3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい	3. 看護、介護等が必要なくなれば就労したい
4. 1 年以内に就労したい	4. 1 年以内に就労したい
→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 (① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間)	→ (「2～4」の場合) 希望する就労形態 (① フルタイム ② パートタイム、アルバイト等 1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間)

お子さまの平日の幼稚園・保育施設等の利用についてうかがいます

＜問 12 の各設問については、以下の幼児教育無償化が実施されることを想定してお答えください。＞

来年 10 月から、幼児教育無償化（すべての 3～5 歳及び市民税非課税世帯の 0～2 歳児に係る、幼稚園授業料・保育所保育料等が対象）が本格実施されることが国において予定されています。

【幼児教育無償化の範囲（国から示されている案）】

幼稚園（認定こども園の幼稚園部分の利用者を含む。）：月額 25,700 円まで補助

※共働き家庭、ひとり親で働いている家庭等で幼稚園の預かり保育を利用する場合は、預かり保育に係る費用を含めて月額 37,000 円まで補助

保育所（認定こども園の保育園部分の利用者を含む。）：無償化の対象となる範囲（保育時間等）については、現在国において検討中です。

認可外保育施設：月額 37,000 円まで補助

問 12(1) 宛名のお子さまは、平日に幼稚園・保育施設等を定期的にご利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している ⇒問 12(2), (3), (4)へ 2. 利用していない ⇒p. 7 問 12(5)へ

＜問 12(1)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.7 問 12(5)へお進みください。＞

問 12(2) 現在、どのような施設等を利用していますか。(○はいくつでも)

1. 幼稚園 (通常の通園時間の利用)
2. 幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用) (通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用)
3. 幼稚園+預かり保育 (たまに利用) (通常の通園時間に加え、必要な時だけ預かり保育を利用)
4. 認定こども園 5. 保育園 (所)
6. 小規模 (家庭的) 保育事業所 (定員 19 人以下の京都市認可保育事業所)
7. 事業所内保育施設 8. 認可外保育施設
9. ベビーシッター 10. その他 ()

また、主に利用している施設について、「現在」と「希望」の利用日数・時間を () 内に具体的な数字 (時刻の場合は 24 時間制で) をご記入ください。

主に利用している 施設の選択肢	利用日数・時間 (時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください)	
	現在	希望
	現在	1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間 【 () 時～ () 時 】
	希望	1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間 【 () 時～ () 時 】
	現在	1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間 【 () 時～ () 時 】
	希望	1 週あたり () 日 1 日あたり () 時間 【 () 時～ () 時 】

＜問 12(1)で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 12(3) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、平日に定期的に利用したいと思う施設等について、下記の選択肢から番号を選んで利用したい順番に 3 つまでご記入ください。

働き方改革関連法案が本年 6 月 29 日に国会で可決・成立したところですが、我が国の企業文化や社会風土も含めて働き方を見直そうという「働き方改革」が進んでいます。

主な内容は以下のとおりです。

1. 長時間労働の是正 (時間外労働の上限規制の導入)
2. 正規・非正規など雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保 (同一労働同一賃金)

例えば「1. 長時間労働の是正」が進んだ場合、お子さまを施設等に預ける時間を減らし、子どもと一緒に過ごす時間を今よりも増やせる可能性があります。

順番に 3 つまで記入

1 番目

2 番目

3 番目

1. 幼稚園 (通常の通園時間の利用)
2. 幼稚園+預かり保育 (ほぼ毎日利用) (通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用)
3. 幼稚園+預かり保育 (たまに利用) (通常の通園時間に加え、必要な時だけ預かり保育を利用)
4. 認定こども園 5. 保育園 (所)
6. 小規模 (家庭的) 保育事業所 (定員 19 人以下の京都市認可保育事業所)
7. 事業所内保育施設 8. 認可外保育施設
9. ベビーシッター 10. その他 ()

＜問 12 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 12 (4) 「働き方改革」によって、あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、幼稚園・保育施設等をどのくらいの時間利用したいですか。平日に定期的に利用する場合の希望利用時間等をお答えください。（「9 時～18 時」のように 24 時間制で記入）

※時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください。

1 日あたり（ ）時間【（ ）時～（ ）時】

＜問 12 (1) で「2」と答えた方にうかがいます。＞

問 12 (5) 幼稚園・保育施設等を利用していない主な理由は何ですか（「2」と答えた方は子どもの年齢もご記入ください）。（○は 1 つ）

1. 子どもの父か母が世話をされていて利用する必要がない
2. 子どもがまだ小さいため利用していない（ _____ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
3. 子どもの祖父母や親戚の人に子どもを預けていて利用する必要がない
4. 近所の人や父母の友人・知人に子どもを預けていて利用する必要がない
5. 利用したいが、利用したい幼稚園・保育施設等の定員に空きがない
6. 利用したいが、経済的な理由（保育料・教材費が高いなど）で利用していない
7. 利用したいが、利用したい時間帯と教育・保育の実施時間が合わない
8. 利用したいが、質に納得できる幼稚園・保育施設等が見つからない
9. その他（ _____ ）

＜問 12 (2) で「1～3」と答えた方（幼稚園を利用している方）にうかがいます。それ以外の方は p.8 問 13 (1) へお進みください。＞

問 12 (6) 直近の夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中において、幼稚園の預かり保育を利用されましたか。（○は 1 つ）

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日利用した | } ⇒ 問 12 (7), (8) へ |
| 2. 週に数日利用した | |
| 3. 幼稚園が預かり保育を実施しているが利用しなかった | } ⇒ p. 8 問 13 (1) へ |
| 4. 長期休暇期間中は、幼稚園が預かり保育を実施していなかった | |

＜問 12 (6) で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.8 問 13 (1) へお進みください。＞

→ 問 12 (7) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間中にお子さまを預けた主な理由は何ですか。（○は 1 つ）

【お子さまの身の回りの世話を主にしている方が】

1. 就労していたため
2. 家族・親族等を介護していたため
3. 病気や障害があるため
4. 学生で、授業等があったため
5. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため
6. その他（ _____ ）

＜問 12 (6) で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。＞

- 問 12 (8) 長期休暇期間中の預かり保育について、「現在」と「希望」の利用時間をお答えください。
 (「9 時～18 時」のように 24 時間制で記入)
 ※時間については、30 分以上の端数は切上げ、30 分未満は切下げてご記入ください。

① 現在	1 日あたり () 時間【() 時～() 時】
② 希望	1 日あたり () 時間【() 時～() 時】

＜すべての方にうかがいます。＞

- 問 13 (1) 宛名のお子さまについて、以下の施設・保育施設等を平日に定期的に利用したいですか。
 現在、利用している、利用していないにかかわらず、下記の選択肢から番号を選んで利用したい順番に 3 つまでご記入ください。

順番に 3 つまで記入	1 番目	2 番目	3 番目
-------------	------	------	------

1. 幼稚園 (通常の通園時間の利用)
2. 幼稚園＋預かり保育 (ほぼ毎日利用) (通常の通園時間に加え、年間通じてほぼ毎日預かり保育を利用)
3. 幼稚園＋預かり保育 (たまに利用) (通常の通園時間に加え、必要な時だけ預かり保育を利用)
4. 認定こども園
5. 保育園 (所)
6. 小規模 (家庭的) 保育事業所 (定員 19 人以下の京都市認可保育事業所)
7. 事業所内保育施設
8. 認可外保育施設
9. ベビーシッター
10. その他 ()
11. 利用したくない ⇒ p. 9 問 14 (1) へ

＜問 13 (1) の「1～10」を 1 つでも選んだ方にうかがいます。それ以外の方は p. 9 問 14 (1) へお進みください。＞

- 問 13 (2) 施設等を利用したいと考えている主な理由は何ですか。(○は 1 つ)

1. 子どもの健やかな発達や教育等のために必要なため
 【お子さまの身の回りの世話を主にしている方が】
2. 現在就労している
3. 現在より就労日数や時間を増やしたい
4. 就労予定である／求職中である
5. そのうち就労したいと考えている
6. 家族・親族等を介護している
7. 病気や障害がある
8. 学生で、授業等がある
9. 家事や買い物・家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため
10. その他 ()



◀問 13 (1) の「1～10」を1つでも選んだ方にうかがいます。▶

問 13(3) 利用する幼稚園・保育施設等を選択する際、①～⑬について、あなたのお考えをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	重視する	重視する 少し	どちらとも いえない	重視しない あまり	重視しない
① 教育内容	1	2	3	4	5
② 自宅・職場から近いなどの地理的条件	1	2	3	4	5
③ 通園バスによる送迎の有無	1	2	3	4	5
④ 給食の有無	1	2	3	4	5
⑤ 保育士、教職員等の体制	1	2	3	4	5
⑥ 施設・設備の良さ	1	2	3	4	5
⑦ 保育料、教材費等の金額	1	2	3	4	5
⑧ 教育・保育の実施時間（幼稚園の預かり保育の時間を含む。）の長さ	1	2	3	4	5
⑨ 夏休み等の長期休暇期間中の預かりの有無	1	2	3	4	5
⑩ 低年齢児（0～2歳）の受入れの有無	1	2	3	4	5
⑪ 少人数で家庭的な雰囲気かどうか	1	2	3	4	5
⑫ 障害のある子どもの受入体制が充実しているかどうか	1	2	3	4	5
⑬ 宛名のお子さまの兄弟姉妹や、友人・知人の子どもが通っている（通っていた）施設かどうか	1	2	3	4	5

土曜日や日曜日・祝日の幼稚園・保育施設等の利用希望についてうかがいます

問 14(1) 宛名のお子さまについて、土曜日と日曜日・祝日に、幼稚園・保育施設等の利用（一時的な利用は除く。）を希望しますか。(○はそれぞれ1つずつ) 希望する場合は、利用したい時間を24時間制で（ ）内にご記入ください。※これらの利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

① 土曜日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない ⇒p. 10 問 15(1)へ	} ⇒ 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで
② 日曜日・祝日	1. 毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない ⇒p. 10 問 15(1)へ	} ⇒ 利用したい時間 () 時 () 分から () 時 () 分まで

＜問 14(1)で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。＞

問 14(2) 土曜日、日曜日・祝日にお子さまを預けたい主な理由は何ですか。(○は1つ)

【お子さまの身の回りの世話を主にしている方が】

1. 就労している
2. 家族・親族等を介護している
3. 病気や障害がある
4. 学生で、授業等がある
5. 家事や買い物、家庭の用事等、自由のきく時間が一定必要なため
6. その他 ()

お子さまの病気・病後時の対応についてうかがいます

問 15(1) この1年間に、宛名のお子さまが病気や病気の回復期であるために、幼稚園・保育施設等を利用できなかったことがありましたか。(○は1つ)

1. あった ⇒問 15(2)へ
2. なかった ⇒p.11 問 16(1)へ

＜問 15(1)で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 15(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(○はいくつでも)

また、それぞれの日数をご記入ください。

- | | | |
|-----------------------|-------|-------------|
| 1. 父が仕事を休んだ | () 日 | } ⇒問 15(3)へ |
| 2. 母が仕事を休んだ | () 日 | |
| 3. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた | () 日 | |
| 4. 子どもを仕事に同行させた | () 日 | |
| 5. 病児・病後児保育事業を利用した | () 日 | |
| 6. ベビーシッターを利用した | () 日 | |
| 7. ファミリーサポート事業を利用した | () 日 | |
| 8. その他 () () 日 | | |
| 9. 就労していない母または父がみた | () 日 | |



⇒p.11 問 16(1)へ

＜問 15(2)で「1～4」と答えた方にうかがいます。「5～8」と答えた方は p.11 問 15(6)へお進みください。＞

問 15(3) その際、できれば病児・病後児保育事業等を利用したいと思いましたが。(○は1つ)

また利用したい日数についてもご記入ください。

1. できれば病児・病後児保育事業等を利用したい → () 日 ⇒問 15(4), (5)へ
2. できれば家庭等で面倒をみてあげたい(利用したいと思わない) ⇒p.11 問 15(6)へ

＜問 15(3)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.11 問 15(6)へお進みください。＞

問 15(4) 病気または病後の子どもを預ける場合、どのような事業を希望しますか。(○はいくつでも)

1. 医療機関に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
2. 保育園(所)等に併設した専用スペースで子どもを保育する事業
3. 看護師、保育士等1名が子どもの居宅を訪問し、子どもを保育する事業
4. 地域住民が子どもの居宅等の身近な場所で、子どもを預かる事業(例:ファミリーサポート事業)
5. その他 ()
6. どのような事業でもよい

＜問 15 (3) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 15 (5) 病児・病後児保育事業等を利用したいと思っていたのに、実際に利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 父母のいずれかが仕事を休むことができた | 2. 親族・知人に預けることができた |
| 3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 | 4. 事業実施施設に空きがなかった |
| 5. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない | 6. 事業の実施時間（原則平日の8時～18時）が合わない |
| 7. 利用料がかかる・高い | 8. 事業の質に不安がある |
| 9. 事業の利用方法や事業実施施設がわからない | 10. そのような事業があることを知らなかった |
| 11. その他（ | ） |

＜問 15 (2) で「3～8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問 15 (6) 仕事を休めなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 仕事が忙しくて休めなかった |
| 2. 職場に子どもの看護を理由に休みにくい雰囲気があった |
| 3. 自営業なので休めなかった |
| 4. 休暇日数が足りないので休めなかった |
| 5. その他（ |

お子さまの宿泊を伴わない日中の一時預かりについてうかがいます

問 16 (1) 宛名のお子さまについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由で、宿泊を伴わない日中の一時預かりを利用したことがありますか。(○はいくつでも)

また、利用したことがある場合は、（ ）内にそれぞれの日数（半日程度でも1日としてカウント）をご記入ください。

- | | | |
|----------------------------|-------------|---------------------|
| 1. 親族・知人（同居者を含む。）に預けた | （ ）日 | } ⇒p. 12 問 17 (1) へ |
| 2. 保育園（所）の一時保育を利用した | （ ）日 | |
| 3. 幼稚園の預かり保育（不定期利用のみ）を利用した | （ ）日 | |
| 4. ファミリーサポート事業を利用した | （ ）日 | |
| 5. ベビーシッターを利用した | （ ）日 | |
| 6. その他（ | （ ）日 | |
| 7. 利用していない | ⇒問 16 (2) へ | |

＜問 16 (1) で「7」と答えた方にうかがいます。＞

→問 16 (2) 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 特に利用する必要がない |
| 2. 事業実施施設に空きがない |
| 3. 利用したい時間帯と事業の実施時間（一時保育：原則月曜日～土曜日の8時半～17時）が合わない |
| 4. 自宅や職場の近くに事業実施施設がない |
| 5. どこで実施しているかわからない |
| 6. 利用料がかかる・高い |
| 7. 事業の質に不安がある |
| 8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. そのような事業があることを知らなかった |
| 10. その他（ |

問 17(1) この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の理由により、宛名のお子さまを日中一時的に預かる事業を利用したいと思ったことはありますか。(○は1つ)

利用を希望した場合は、年間の希望日数とその理由別の希望日数(半日程度でも1日としてカウント)を()内にご記入ください。

1. 利用希望があった 年間()日 ⇒問 17(2)へ

	(理由別)	
	① 私用、リフレッシュ目的	() 日
	② 冠婚葬祭、兄弟姉妹の学校行事、 保護者や兄弟姉妹の病気等	() 日
	③ 不定期の就労	() 日
	④ その他 ()	() () 日

2. 利用希望はなかった ⇒問 18(1)へ

＜問 17(1)で「1」と答えた方にうかがいます。＞

問 17(2) 日中に一時的にお子さまを預ける場合に利用したい事業はどれですか。(○はいくつでも)

1. 幼稚園・認定こども園・保育施設等で子どもを一時的に保育する事業
2. 地域住民が子どもの居宅等身近な場所で、子どもを預かる事業(例：ファミリーサポート事業)
3. その他 ()
4. どのような事業でもよい

お子さまの宿泊を伴う一時預かりについてうかがいます

問 18(1) この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、宛名のお子さまを泊まりがけで家族以外に預けようとしたこと(預け先が見つからなかった場合を含む)はありましたか。(○は1つ)

1. あった ⇒問 18(2)へ

2. なかった ⇒p. 13 問 19(1)へ

＜問 18(1)で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.13 問 19(1)へお進みください。＞

→問 18(2) この1年間の対処方法についてお答えください。(○はいくつでも)

また、()内にそれぞれの泊数をご記入ください。

- | | | |
|-----------------------|-------|--------------------------------|
| 1. 親族・知人(同居者を含む。)に預けた | () 泊 | } ⇒問 18(3)へ
⇒p. 13 問 19(1)へ |
| 2. ショートステイ事業を利用した | () 泊 | |
| 3. 認可外保育施設を利用した | () 泊 | |
| 4. ベビーシッターを利用した | () 泊 | |
| 5. 仕方なく子どもを同行させた | () 泊 | |
| 6. その他 () | () 泊 | |

＜問 18(2)で「1」と答えた方にうかがいます。＞

→問 18(3) その際は預かってもらいやすい状況でしたか。(○は1つ)

1. 預かってもらいやすかった(特に預かってもらいにくくはなかった)
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. とても預かってもらいにくかった

地域の子育て支援のための事業の利用等についてうかがいます

問 19(1) 地域の子育て支援事業の利用等について、「A」及び「B-1」についてお答えください。

(○はそれぞれいくつでも)すでに利用している場合は、「現在」と「希望」の利用回数を「B-2」の()内にご記入ください。

	A 知って いる	B-1 利用し ている	B-2 利用している場合のおおよその利用回数	
			現在	希望
① 子育て支援活動いきいき センター(つどいの広場)	1	1	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回
② 児童館 (乳幼児クラブ)	2	2	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回
③ 京都市営保育所 (地域での子育て支 援活動)	3	3	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回
④ 民営保育園(地域で の子育て支援活動)	4	4	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回
⑤ 京都市立幼稚園 (教育相談)	5	5	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回
⑥ 私立幼稚園 (地域子育て相談事業)	6	6	現在 1週あたり()回 または 1月あたり()回	希望 1週あたり()回 または 1月あたり()回

＜問 19(1)の①～⑥のいずれの事業も利用していない方にうかがいます。それ以外の方は p.14 問 20(1)へお進みください。＞

問 19(2) 現在事業を利用していない主な理由は何ですか。(○は1つ)

- すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため
- 利用する時間がない
- 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
- 自宅の近くで事業を実施していない
- 地域で実施している事業の質に不安がある
- どこで実施しているかわからない
- 事業の対象者や利用方法(手続き等)がわからない
- そのような事業があることを知らなかった
- その他 ()
- 特に理由はない



＜問 19 (1) の①～⑥のいずれの事業も利用していない方にうかがいます。＞

問 19 (3) 今後、これらの事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 利用を希望する | 2. 特に利用を希望しない |
|------------|---------------|

問 20 (1) 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の設置・運営を行っています。宛名のお子さまは、これまでに児童館を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 利用している／利用したことがある | ⇒問 20 (2), (4) へ |
| 2. 児童館は知っているが、利用したことはない | ⇒問 20 (3), (4) へ |
| 3. 児童館を知らなかった | ⇒p. 15 問 21 (1) へ |

＜問 20 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

→問 20 (2) どのような目的で利用しましたか。(○はいくつでも)

1. 乳幼児クラブに参加するため
2. 母親クラブに参加するため
3. 子育て相談のため
4. 1～3に該当しないが、子どもを遊ばせるため
5. その他 ()

＜問 20 (1) で「2」と答えた方にうかがいます。＞

→問 20 (3) 宛名のお子さまが児童館を利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. すでに宛名の子どもが幼稚園・保育施設等に通っているため
2. 利用する時間がない
3. 利用したい時間帯と開館時間が合わない
4. 自宅の近くにない
5. どこにあるかがわからない
6. 開館時間がわからない
7. 児童館でどのような事業を実施しているのかわからない
8. 利用方法（手続き等）がわからない
9. 乳幼児も利用できることを知らなかった
10. 小学生以上の子どももいるので乳幼児が利用するのは不安である
11. 事業の質に不安がある
12. その他 ()
13. 特に理由はない



＜問 20 (1) で「1」または「2」と答えた方にうかがいます。＞

→問 20 (4) 児童館を利用しやすくするために最も期待することは何ですか。(○は1つ)

1. 施設や活動内容のPRの充実
2. 乳幼児クラブの実施回数の充実
3. 母親クラブの活動促進
4. イベントや催し物等の充実
5. 日曜日・祝日の開館や開館時間の延長等、利用しやすい開館時間の設定
6. 子育て相談しやすい環境づくり
7. 子育てサークルの自主的な活動スペースの提供
8. その他 ()

問 21 (1) ファミリーサポート事業を利用したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 利用している/利用したことがある | ⇒問 21 (2), (3) へ |
| 2. 会員登録はしているが、利用したことはない | } ⇒問 21 (4), (5) へ |
| 3. 利用したことはない | |

＜問 21 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は問 21 (4) へお進みください。＞

→問 21 (2) 事業を利用している目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 主たる保育事業として利用している
2. 幼稚園・保育施設等の開始前や終了後に子どもを預かってもらっている
3. 子どもが軽度の病気あるいは病気回復期に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえない時に利用している
5. 親の冠婚葬祭や買い物等の外出の際に利用している
6. 幼稚園・保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他 ()

＜問 21 (1) で「1」と答えた方にうかがいます。＞

→問 21 (3) 現在どの程度利用しており、希望としてはどのくらい利用したいですか。それぞれの () 内に回数と時間をご記入ください。

① 現在	1 月あたり () 回	1 回あたり () 時間程度
② 希望	1 月あたり () 回	1 回あたり () 時間程度

＜問 21 (1) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。それ以外の方は p.16 問 22 へお進みください。＞

→問 21 (4) 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない／なかった
2. 会員登録をしなければならない
3. 事前説明会に参加しなければならない
4. 急に利用しにくい
5. 利用したい時間帯と事業の実施時間が合わない
6. 利用料がかかる・高い
7. 事業の質に不安がある
8. 事業の対象者や利用方法（手続き等）がわからない
9. そのような事業があることを知らなかった
10. その他 ()
11. 特に理由はない



＜問 21 (1) で「2」または「3」と答えた方にうかがいます。＞

→問 21 (5) 今後、ファミリーサポート事業の利用を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 利用を希望する | 2. 特に利用を希望しない |
|------------|---------------|

小学校入学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

◀宛名のお子さまが来年4月に小学校に入学される方にうかがいます。それ以外の方は p.17 問 24(1)へお進みください。▶

問 22 宛名のお子さまについて、小学校入学後、平日の放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(〇はいくつでも)

また、『低学年の間』と『高学年になったら』で、それぞれ週あたりの希望日数をご記入ください。

「⑦ 京都市の学童クラブ事業」「⑫ 放課後等デイサービス」の場合は、利用を希望する時間(「18 時」のように 24 時間制で)をご記入ください。

※児童館で行う学童クラブを利用している場合は、「⑦」の欄にご記入ください。

※「低学年」とは小学校 1～3 年生、「高学年」とは小学校 4～6 年生のことをいいます。

過ごさせたい場所	学年	過ごさせたい日数
① 自宅	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
② 公園等の屋外	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
③ (お子さまの) 友人宅	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
④ 祖父母宅や保護者の友人・知人宅	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑤ 学校内の部活動, 校庭開放	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑥ 習い事や塾	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑦ 京都市の学童クラブ事業 (※)	低学年の間	週 () 日くらい (下校時から () 時まで)
	高学年になったら	週 () 日くらい (下校時から () 時まで)
⑧ 京都市の放課後まなび教室	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑨ 児童館 (学童クラブ事業以外)	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑩ ファミリーサポート事業	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑪ 企業や団体等が運営している民間の学童保育	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑫ 放課後等デイサービス	低学年の間	週 () 日くらい (下校時から () 時まで)
	高学年になったら	週 () 日くらい (下校時から () 時まで)
⑬ その他① ()	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい
⑭ その他② ()	低学年の間	週 () 日くらい
	高学年になったら	週 () 日くらい

※本調査では学童クラブ事業に、放課後ほっと広場の学童クラブ機能(ゆうゆうクラブ)を含みます。

問 23 宛名のお子さまの「土曜日」、「日曜日・祝日」、「夏休み等の学校の長期休業中」のそれぞれの学童クラブ等の利用希望の有無について、『低学年の間』と『高学年になったら』のそれぞれでお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

また、利用したい時間帯(「9時～18時」のように24時間制で)をご記入ください。

※時間については、30分以上の端数は切上げ、30分未満は切下げてご記入ください。

※これらの利用にあたっては、一定の利用者負担がかかります。

		利用希望の有無(【 】内は利用したい時間帯)
① 土曜日	低学年の間	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない
② 日曜日・祝日	低学年の間	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない
③ 夏休み等の学校の長期休業中	低学年の間	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない
	高学年になったら	1. 利用したい【()時から()時まで】 2. 利用希望はない

育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援制度についてうかがいます

問 24(1) 宛名のお子さまが生まれた時の育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	父	母
① 就労していなかった	1	1
② 取得中である	2	2
③ 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した	3	3
④ 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった	4	4
⑤ 育児休業取得中に離職した	5	5
⑥ 取得していない	6	6

＜問 24 (1) で父母のどちらかが「6. 取得していない」と答えた方にうかがいます。＞

問 24 (2) その方が、育児休業を取得していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

	父	母
① 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
② 仕事が忙しかった	2	2
③ (産前産後休業後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
④ 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
⑤ 昇給・昇格等が遅れそうだった	5	5
⑥ 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
⑦ 保育園(所)等に預けることができた	7	7
⑧ 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
⑨ 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
⑩ 子育てや家事に専念するため退職した	10	10
⑪ 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	11
⑫ 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
⑬ 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
⑭ 産前産後休業(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14	14
⑮ その他(() 内に理由を記入)	15 ()	15 ()

＜問 24 (1) で父母のどちらかが「4. 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった」と答えた方にうかがいます。＞

問 24 (3) その方が、短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

	父	母
① 職場復帰後に退職したので、利用の必要がなかった	1	1
② 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった	2	2
③ 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった	3	3
④ 仕事が忙しかった	4	4
⑤ 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	5	5
⑥ 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	6	6
⑦ 職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	7	7
⑧ 制度を利用できることを知らなかった	8	8
⑨ その他(() 内に理由を記入)	9 ()	9 ()

◀p.17 問 24 (1) で父母のどちらかが「5. 育児休業取得中に離職した」と答えた方にうかがいます。▶

問 24 (4) その方が、離職した理由は何ですか。(○はいくつでも)

	父	母
① 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった	1	1
② 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった	2	2
③ 制度の有無等に関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった	3	3
④ その他 (() 内に理由を記入)	4 ()	4 ()

子育て支援・相談などについてうかがいます

問 25 子育てをしている今の気持ちについてお答えください。(○は1つ)

1. とても楽しい 2. 楽しい 3. 少し不安または負担を感じる
4. とても不安または負担を感じる 5. どちらともいえない

問 26 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と最も感じること、感じる時についてお答えください。
(○はいくつでも)

1. 家族のきずなが深まった 2. 他人の子どもや他人に対して優しくなれた
3. 子どもに多くのことを教えられた 4. ものの見方や価値観が変わった
5. 子どもが見出す新鮮な発見が楽しい 6. 家庭の雰囲気がなごやかになった
7. 子どもの成長・発達に感動した (歩いた、しゃべった、運動会での活躍など)
8. 子どもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた
9. 子どもが家族のために優しい気配りやお手伝いなどしてくれた時
10. 子どもが他の子ども (友達) のために優しい気配りなどしてくれた時
11. その他 ()
12. 特にない

問 27 宛名のお子さまを育てていて、日頃、不安に感じていることはありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	不安 ではない	あまり 不安 ではない	どちら とも いえない	少し 不安 である	不安 である
① 子どものしつけ	1	2	3	4	5
② 子どもの教育	1	2	3	4	5
③ 子どもの教育費	1	2	3	4	5
④ 子どもの遊び	1	2	3	4	5
⑤ 子どもを遊ばせることができる場所	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの友達付き合い	1	2	3	4	5
⑦ 子どもを預けられる施設や条件	1	2	3	4	5
⑧ 子どもの食事や栄養	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの病気や発育	1	2	3	4	5

	不安 ではない	あまり 不安 ではない	どちら とも いえない	少し 不安 である	不安 である
⑩ 子どもの医療費	1	2	3	4	5
⑪ 子どもの将来	1	2	3	4	5
⑫ 子どもと接する時間	1	2	3	4	5
⑬ 家族の中での子育て観	1	2	3	4	5
⑭ 配偶者の子育てへの協力	1	2	3	4	5
⑮ 子育てに対する自信	1	2	3	4	5
⑯ 育児書どおりにならない	1	2	3	4	5
⑰ 子育てと自分の生きがいや仕事との関係	1	2	3	4	5
⑱ 自分の話し相手や相談相手	1	2	3	4	5
⑲ 自分の時間、心のゆとり	1	2	3	4	5
⑳ 自分の健康	1	2	3	4	5
㉑ その他（ ）	1	2	3	4	5

問 28 宛名のお子さまを育てるうえで、日頃気になることをどこに、または誰に相談していますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1. 保健福祉センター子どもはぐくみ室 | 2. 児童福祉センター |
| 3. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） | 4. 児童館 |
| 5. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等 | |
| 6. こどもみらい館 | 7. 民生委員・児童委員，主任児童委員 |
| 8. 医療機関 | 9. 配偶者・パートナー |
| 10. 祖父母等の親族 | 11. 友人や近隣の住民 |
| 12. 職場の同僚 | 13. 子育てサークル等の仲間 |
| 14. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 | 15. 電話相談機関 |
| 16. インターネットの相談・質問サイト | 17. その他（ ） |
| 18. 相談相手がいない | |

問 29 あなたは、宛名のお子さまと遊ぶ機会は、どの程度ありますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3～4日 | 3. 週に1～2日 |
| 4. 月に1～2日 | 5. めったにない | |

問 30 育児休業取得率に代表されるように、子育てへの関わりについては一般的に母親よりも父親の方が少ないと言われていますが、その理由をどのように考えますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 残業や休日出勤等が多く、仕事を優先せざるを得ないこと |
| 2. 通勤時間が長いこと |
| 3. 子どもや家庭のことで休みを取ることに、職場の理解を得にくいこと |
| 4. 父親として具体的に何をすべきかよくわからないこと |
| 5. 父親が育児に関わることを恥ずかしいと思う意識が男性にあること |
| 6. 父親が育児に関わることを特別視する風潮が世間にあること |
| 7. その他（ ） |
| 8. わからない |

問 31 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に最優先で取り組むべきだと思いますか。（○は1つ）

1. 妊娠中の出勤時間など就労条件に対して便宜を図る制度・施策の充実
2. 産前や産後の休暇が十分に取れる制度・施策の充実
3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備
4. 育児休業中も職場の情報を提供するなど、職場に復帰しやすい条件の整備
5. 子育ての間は、残業や出張などを免除する制度
6. 子育ての間は、雇用形態を変えずに就労時間を短くする制度
7. 子育ての間は、パートなど一時的に雇用形態を変えることができる制度
8. 子どもの用事（学校行事、病気など）の時に休める制度や時間単位休暇制度
9. 事業所内に子どもが預けられる施設等の整備
10. 育児相談の実施
11. 出産や育児のために仕事を辞めた女性への再雇用制度の充実
12. 女性の就労継続に対する企業などの理解や支援
13. その他（ ）
14. 特にない

問 32(1) 宛名のお子さまは朝食・夕食を1週間に何日程度食べていますか。（○はそれぞれ1つつづつ）

	ほぼ毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんど食べない	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5
② 夕食	1	2	3	4	5

問 32(2) 宛名のお子さまは、朝食・夕食を誰と食べることが多いですか。（○はそれぞれいくつでも）

	母親	父親	祖母	祖父	きょうだい（兄弟姉妹）	本人（お子さま）のみ	その他（ ）	わからない
① 朝食	1	2	3	4	5	6	7	8
② 夕食	1	2	3	4	5	6	7	8

問 33(1) あなたのご家庭では、宛名のお子さまの夕食をつくる（料理（離乳食を含む）する）ことがどの程度ありますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|--------------|---------------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に4～5日程度 | 3. 週に2～3日程度 |
| 4. 月に数日（休日など） | 5. ほとんどつくらない | 6. まだ食べられない（離乳食前など） |

《問 33(1)で「4」または「5」と答えた方にうかがいます。》

→ 問 33(2) 宛名のお子さまの食事で、最も多いものをお答えください。（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 外食 | 2. スーパーやコンビニ等で購入するお惣菜、弁当 |
| 3. インスタント・レトルト食品 | 4. お菓子 |
| 5. 親戚、知人がつくった料理 | 6. わからない |
| 7. その他（ ） | |

問 34 宛名のお子さまには、かかりつけの医師がいますか。(○は1つ)

1. いる 2. いない

問 35 休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

問 36(1) 子育てに関して知りたい情報についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園・保育施設等に関する情報 2. 1以外の子育て支援施策に関する情報
3. 民間の子育て援助サービス(ベビーシッター等)に関する情報 4. 子どもと一緒に参加できるイベント情報
5. 医療機関に関する情報 6. 子どもの病気時への対処方法
7. 子どもに関する相談窓口 8. 子育てサークルの情報
9. その他() 10. 特に必要な情報はない ⇒p.23 問37へ

＜問36(1)で「1～9」と答えた方にうかがいます。＞

問 36(2) 問36(1)のような子育てに関する情報の入手方法について、行政と民間のそれぞれでお答えください。(○はそれぞれ2つまで)

	入手方法
① 行政	1. 市民しんぶん 2. 京都市のホームページ(京都市情報館や各区・支所子ども支援センターのHP) 3. 京都市公式ソーシャルメディア(twitter, YouTube, Facebook, アプリ) 4. 京都市子育てアプリ「京都はぐくみアプリ」 5. 京都市が発行する子育て応援パンフレット 6. 保健福祉センター子どもはぐくみ室の発行物等 7. 児童福祉センター(児童相談所・発達相談所) 8. こどもみらい館の発行物等 9. 子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場) 10. 児童館の発行物等 11. 宛名のお子さまやその兄弟姉妹が通っている学校・幼稚園・保育施設等 12. 11以外の学校・幼稚園・保育施設等 13. その他()
② 民間	1. 民生委員・児童委員, 主任児童委員 2. 電話相談機関 3. 医療機関 4. 配偶者・パートナー 5. 祖父母等の親族 6. 友人や近隣の住民 7. 職場の同僚 8. 子育てサークル等の仲間 9. 幼稚園・保育施設等や学校の保護者仲間 10. テレビ, ラジオ, 新聞, 雑誌等 11. インターネットの子育て情報サイト 12. その他()



問 37 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 38(1) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 現在参加している | } ⇒問 38(2)へ |
| 2. 新たに立ち上げたいと考えている | |
| 3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい | ⇒問 38(2), (3)へ |
| 4. 現在参加していないし、今後も参加するつもりはない | ⇒問 38(3)へ |

＜問 38(1)で「1～3」のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問 38(2) 子育てサークル等の自主的な活動をしていくにあたって、行政や地域に行ってほしい支援は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 活動場所の提供(場所貸し等) | 2. サークルリーダーの育成 |
| 3. 情報発信やPR等に関する支援(掲示板の開放等) | 4. 活動時間中の保育サービス |
| 5. 活動を進めていくうえでの相談や助言 | 6. 活動資金の助成 |
| 7. その他() | 8. 特にない |

＜問 38(1)で「3」または「4」と答えた方にうかがいます。＞

問 38(3) 子育てサークル等の自主的な活動に参加していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 時間がない(仕事等が忙しいなど) | 2. 身近にサークルや組織がない |
| 3. 身近にサークルがあるのかわからない | 4. 活動や役割が大変そう |
| 5. 人間関係等がわずらわしそう | 6. すでに他の仲間がいる |
| 7. 参加しようとしたが参加者がいっぱい断られた | 8. その他() |
| 9. 特に理由はない | |

問 39 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|---------|
| 1. とても感じる | 2. 感じる |
| 3. あまり感じない | 4. 感じない |

問 40 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 身近な問題についての親同士での相談や話し合い |
| 2. 地域が実施する子ども向けの活動(地蔵盆や通学路の見守り活動等)を通じて、地域の大人が子どもに関わり合うこと |
| 3. 子どもや保護者が集える場所づくり |
| 4. 「声かけ」「あいさつ」をはじめ、身近なコミュニケーション |
| 5. 急用や緊急時に、子どもを預け合えること |
| 6. 子どもの危険な行為やいたづらを注意し合えること |
| 7. 子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配り合うこと |
| 8. 子どもの言動に対する寛容なまなざし |
| 9. その他() |
| 10. 期待することは特にない |

問 41 宛名のお子さまを平日の日中どこで遊ばせることが最も多いですか（幼稚園・保育施設等に通っている場合は、それ以外の時間の状況についてお答えください）。（○は1つ）

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 公園・ちびっこひろば | 2. 家の近くの路地や道路 |
| 3. 自宅 | 4. 子どもの友人宅 |
| 5. 親戚や知人宅 | 6. 児童館 |
| 7. こどもみらい館 | 8. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場） |
| 9. 図書館 | 10. その他（ ） |

問 42(1) 子どもを連れて外出する際の主な移動手段は何ですか。（○は1つ）

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1. 自動車 | 2. 公共交通機関 |
| 3. 自転車 | 4. ベビーカー（三輪車を押して移動する場合も含む。） |
| 5. 徒歩 | |

《問 42(1)で「3～5」のいずれかを選んだ方にうかがいます。》

問 42(2) 問 42(1)で答えられた方法で移動される場合の平均的な移動距離を（ ）内にご記入ください。

（ ） m

問 43 宛名のお子さまと外出する際に、困ること・困ったことについてお答えください。

（○はいくつでも）

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差等がベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所が少ないこと
7. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所が少ないこと
8. 緑や広い歩道が少ないなど、街並みにゆとりとuringおいが少ないこと
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪被害の防止対策が少ないこと
10. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
11. 荷物や子どもに手をとられて困っている時に、手を貸してくれる人が少ないこと
12. その他（ ）
13. 特に困ること・困ったことはない



問 44 平成 19 年 2 月制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についてうかがいます。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思いますか。(○はそれぞれ 1 つずつ)

1. 知っている

2. 知らない

- ☐ (1) 実践していると思う
- ☐ (2) 今後、実践したいと思う
- ☐ (3) 関心がない

- ☐ (1) 今後、実践したいと思う
- ☐ (2) 関心がない

<参考>子どもを共に育む京都市民憲章

わたくしたちは、

- 1 子どもが存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成 19 年 2 月 5 日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3 月 13 日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

問 45 京都市は子どもにとって住みやすいと感じますか。(○は 1 つ)

1. とても感じる

2. 感じる

3. あまり感じない

4. 感じない

問 46 京都市は子育てしやすいまちだと感じますか。(○は 1 つ)

1. とても感じる

2. 感じる

3. あまり感じない

4. 感じない

問 47 今後、京都市・京都府・国にどのようなことを最も期待しますか。(○は 1 つ)

1. 妊娠・出産の支援の充実

2. 子どもの健康や医療に関する取組の充実

3. 保育施設の整備や学童クラブ等の子育て支援の取組の充実

4. 教育環境の整備

5. 子育て世帯に対する経済的支援の充実

6. 仕事と子育ての両立支援と働き方の見直しの促進

7. 子育てに関する相談体制の整備

8. 交通事故・犯罪の予防・防止等、子どもの安全対策の充実

9. その他 ()

10. 特にない

問 48 あなたが生活で、最も重要だと考えていること（価値観）は何ですか。(○は 1 つ)

1. 仕事や就労

2. 経済的な豊かさ

3. 子育てや子どもへの教育

4. 家族と過ごす時間

5. 友人など家族以外の人との交流

6. 自分のために使う時間（趣味や自己研さんのための時間等）

7. 自分や家族の健康

8. 地域や社会に貢献する活動

9. その他 ()

10. 特にない

問 49 現在の京都市について、あなたの実感に最も近いものをお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	そう思う	少しそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない
① 安心して出産できる環境である	1	2	3	4	5
② 乳幼児健診でのアドバイスやアフターフォローが充実している	1	2	3	4	5
③ 身近に小児医療が受けられる環境が整っている	1	2	3	4	5
④ 必要な時に保育施設等や学童クラブ等を利用できる環境である	1	2	3	4	5
⑤ 保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)の時に、必要な支援を受けられる環境である	1	2	3	4	5
⑥ 障害や、保護者の養護が足りないなど、配慮を要する子どもの状況に応じた支援が行われている	1	2	3	4	5
⑦ 子育てをしながら仕事と生活は両立できる環境である	1	2	3	4	5
⑧ 子育てに不安を感じた時気軽に相談できるところがある	1	2	3	4	5
⑨ 子どもの教育環境が充実している	1	2	3	4	5
⑩ 青少年が健全に育つ環境である	1	2	3	4	5
⑪ 身近に、自宅以外の子どもの居場所や遊び場がある	1	2	3	4	5

問 50 安心して子どもを生み、子どもを健やかに育てていくための行政の取組や、社会制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、以下の選択肢 1つ に○を付けていただき、自由記述欄にご記入ください。

1. 妊娠・出産に関する取組について
2. 子どもの健康や医療について
3. 保育園(所)、認定こども園や幼稚園について
4. 保育園(所)、認定こども園や幼稚園以外の子育て支援について
5. 就学後の学童クラブ等の子育て支援について
6. 教育環境について
7. 子育て世帯に対する経済的支援について
8. 仕事と子育ての両立支援と働き方について
9. その他 ()

(自由記述)

アンケートはこれで終わりです。ご協力ありがとうございました！
同封の封筒に入れ、切手を貼らずに 9月21日(金) までにご投函ください。

● 用語説明

※ アンケートにご回答いただく際にご参照ください。

用 語	説 明
あ	
預かり保育（幼稚園で実施されるもの）	幼稚園における正規の教育時間（平日の概ね9時から14時の開園時間）の前後や、土日祝日・長期休業期間中に、保護者の希望に応じて、幼稚園において在園児を預かる仕組みをいいます。（市内ほぼすべての私立幼稚園で実施）
一時保育	保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育、保護者の傷病等による緊急時の保育、保護者のリフレッシュを図るための一時的な保育を実施します。（市内56か所の保育園（所）または認定こども園で実施）
か	
学童クラブ事業	保護者の就労等で昼間留守になる家庭の小学生のお子さまを対象に、児童館・学童保育所で放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成する事業です。
子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）	子育て中の親子（主に乳幼児を育てている親とその子）が気軽に集い、交流できる場を提供しています。子育てアドバイザーが常駐し、専門的な観点から子育て相談に応じるほか、子育て講座等の事業も行っています。（市内34か所で実施）
子どもはぐくみ室 （区役所・支所保健福祉センター子どもはぐくみ室）	お住まいの区役所・支所において、子育て支援を担当している部署です。妊娠から出産、その後の子育てに係る概ね18歳までのお子さまや子育て家庭に関する各種の施策利用に関する窓口として、また身近な地域における相談支援の拠点として、お住まいの地域の子育てに関する様々な情報の提供などを行っています。
こどもみらい館	子育て支援の中核施設として、乳幼児の子育てを支援するため、各種の子育てに関する相談や子育て講座等を実施しているほか、乳幼児の親子が一緒に遊べる「こども元気ランド」や、子育てに関する図書や絵本等の閲覧・貸出しを行う「子育て図書館」があります。（市内で中京区に1か所）

用 語	説 明
さ	
事業所内保育施設	企業や病院等において、その従業員の乳幼児を対象として保育を行う施設の総称です。従業員の子どもとともに、従業員以外の地域の子どもを受け入れることにより、京都市から認可され運営費が払われている施設もあります。また、平成 28 年度からスタートした企業主導型保育事業（国直轄事業）により国から助成を受けている事業所もあります。
児童館	18 歳未満の児童に健全な遊びの機会を提供し、健康の増進と情操を豊かにするために設置された児童福祉施設です。子育て家庭への支援や児童に関する地域の活動センターとしての取組等も行っています。
児童館での乳幼児クラブ・母親クラブ	乳幼児クラブでは、乳幼児と保護者が一緒に参加できるプログラムとして、一緒に遊びながら、親子のきずなを強める取組や保護者同士での子育ての仲間づくりに向けた取組を行っています。 母親クラブでは、お母さん方の交流を図りながら、手作りの人形劇・パネルシアターを上演するなど、地域の子どもたちのための活動を児童館と協力しながら行っています。
児童福祉センター （児童相談所・発達相談所）	児童福祉法に基づく行政機関として設置されている児童相談所を中心に、障害のある子どもへの療育等を行う各種施設などが併設されています。センターでは、子育ての不安、発達の遅れ、障害、不登校、非行、子どもを家庭で育てられないなど、子どもに関する様々な相談に応じています。また、児童虐待の相談や通告も受け付けています。（市内に 2 か所）
小規模（家庭的）保育事業所	保護者の就労や病気等（保育園（所）と同じ条件）により家庭で保育できない主に 3 歳未満のお子さまを対象とした、定員が 6 人以上 19 人以下の少人数で保育を行う事業所です。（小規模保育事業所は市内に 113 か所、家庭的保育事業所は市内に 1 か所）
ショートステイ事業	保護者の入院や通院（病気、出産）、あるいは冠婚葬祭や出張等により、一時的に家庭で子どもがみられなくなった時、小学校修了前までのお子さまを、乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設で一定期間養育する事業です。（市内 2 か所の乳児院、8 か所の児童養護施設、1 か所の母子生活支援施設で実施）
な	
認可外保育施設	児童福祉法に基づく認可を受けていない保育施設の総称です。店舗において専ら顧客が一時的に利用するために設置されるもの等の一部の例外を除き、原則として京都市への設置の届出が必要です。
認定こども園	小学校入学前のお子さまに幼児教育と保育を一体的に提供する機能（幼稚園と保育園（所）の両方の機能）を備えた施設で、保護者からの相談に応じたり、子育て情報を発信するといった、地域における子育て支援事業を行うことが義務付けられています。（市内 34 施設）

用 語	説 明
は	
病児・病後児保育	病氣中・病氣回復期のお子さまがいる方で、仕事等の都合で家庭での育児ができない方のために、医療機関に付設された施設で一時保育を行っています。（病児・病後児保育：市内5施設、病後児保育：市内1施設）
ファミリーサポート事業	育児の援助を受けたい人（依頼会員）と育児の援助をしたい人（提供会員）とが会員となって、保育施設までの送迎や、買い物などで外出の際にお子さまを預かるなど、市民の方が互いに助け合う子育て支援事業です。
保育園（所）	児童福祉法に基づき認可・設置される児童福祉施設で、保護者の就労、病気や親族の介護等で、家庭でお子さまを保育できない場合、家庭に代わってお子さまを保育します。（市内に 229 か所の民営保育園と 17 か所の市営保育所があります。）
放課後ほっと広場 （ゆうゆうクラブ）	児童館等による学童保育を実施していない地域において、保護者の就労等で昼間留守になる家庭の小学生のお子さまを、放課後安全に保護し、かつ、健やかに育成するために、小学校内で「学童クラブ機能」を有する事業を実施しています。
放課後まなび教室	学校施設を活用し、地域や保護者、学生等の参画を得ながら、放課後の子どもたちに、学習の習慣づけを図る「自主的な学びの場」と「安心・安全な居場所」を提供する取組です。市内の全小学校区で原則としてその小学校に通学する子どもたちを対象として実施しています。
ま	
民生委員・児童委員	学区ごとに選出され、担当する地域において、それぞれの委員が住民の立場に立って、福祉に関する相談・援助活動に携わるとともに、地域の関係機関・団体やボランティアと協力して、地域福祉のネットワークづくりに努めています。 なお、民生委員・児童委員の中には、児童や子育てに関わる問題を専門的に担当する主任児童委員がいます。
や	
幼稚園	学校教育法に基づき認可・設置される教育機関で、3歳から5歳児のお子さまに学校教育を行います。（市内に 15 か所の市立幼稚園と 93 か所の私立幼稚園（いずれも休園中を除く。）及び1か所の国立幼稚園があります。）

（施設数等は、平成 30 年6月1日現在）